

# みかわさ

2012年7月

第47号

浄土真宗本願寺派  
福岡教区御笠組



「仏誕生図」

(ローリヤーン・タンガイ出土) 2~3世紀 カルカッタ・インド博物館

中央下方には、生まれたばかりの釈尊の立ち姿がみられます。右手を挙げ掌をこちらに向け施無畏印（せむいいん）をとっています。人々を恐怖や不安から救い安心を与えることを意味する手ぶりです。

私たちになじみの深い誕生仏では、右手で天を左手で地を指さしていますが、この手の格好は中国で始まったと考えられています。

「すべてのものたちを、生老病死の苦しみから救うために生まれてきた」という釈尊の宣言が聞こえきそうです。

仏教の開祖釈迦牟尼（お釈迦さま）の誕生を伝える浮彫り（二世紀ガンドーラ）です。右手でアショカ樹の枝をつかみ、足を交差させる姿で立つ

いる女性が母マーヤー（摩耶）夫人。その右脇腹から釈尊が誕生された瞬間を表現しています。生まれ出る赤ちゃんを受け取ろうとしているのはインドラ神（帝釈天）で、その後ろにはブラフマー神（梵天）が立ち会い、古代インドの最高神たちが後ろで口笛を吹く天人とともに偉大な方の誕生を祝福しています。

題字：小山実千代（伯東寺坊守）



副組長(事務局)  
明福寺住職  
鷺山 智英(釋智英)



組長  
大願寺住職  
藤山 慈雄(釋慈雄)

昨年、親鸞聖人七五〇回大遠忌を、お迎えするにあたり、ご本山では今日までの歩を見直し、将来を見据えたあたり方を模索する中で、大改革が実行されました。現在、社会がかかえていた「諸問題」を一人ひとりが正面から取り組んでいくこということです。例をあげてみると「直葬」の問題です。これは、親族が亡くなり、葬儀も何もせずに二十四時間、倉庫に保管して直接火葬するとのことで、もちろん経済的な理由もあります。もちろん「命と命のつながり」を感じられる活動を目指して、誰もが心豊かに生きられる事の出来る「御同朋の実践」を皆様と共に目指していきたいと思います。



副組長(庶務)  
西福寺住職  
和田 法明(釋法明)



副組長(会計)  
教円寺住職  
花園 秀二(釋秀二)

事務局を担当させて頂いています鷺山です。親鸞聖人七五〇回大遠忌も終わり、ご門主のご消息にもありますようにこれからは「新たな始まり」です。宗門の体制も大きく変わりました。しかし、これまで御笠組が築き上げてきた大切なものを変えることなく及ばずながら活動したいと思います。



教区会議員(門徒)  
正栄寺  
尾崎 和典(釋和典)



教区会議員(僧侶)  
光伝寺住職  
木村 大信(釋大信)

ご縁を頂きました。急激な社会の変化で、世の流れに惑わされ自ら迷いの人生を送っています。御恩報謝に努めねばと思います。又「れんけん修了者のつどい」の役員として慈光照護のもとお念仏相続に励みます。



佛教青年会長  
栄法寺  
石内 孝典(釋正教)



門徒代表者協議会会長  
明福寺  
政住 光(釋光峰)

方々や御同朋の方々と共に親鸞聖人のみ教えを聞法し益々御恩報謝に努めねばと思います。又「れんけん修了者のつどい」の役員として慈光照護のもとお念仏相続に励みます。

この世の中が「無縁社会」と言われるようになつたのは、眞の意味での心の依りどころが失われているからだと思います。そういう世の中だからこそ家族を始め正栄寺のご門徒の今年四月から御笠組執行部



佛教若婦人会長  
西正寺  
木村 貴美子



佛教婦人会長  
正栄寺  
絹子(釋絹翠)  
伊藤

どの活動を行っています。さらに各寺院仏教壮会との連携を深めることや仏婦・若婦との交流ができますと考へています。よろしくお願い致します。

この度、御笠組仏教婦人会長(支部長)をさせて頂くこととなり、御笠組だけではなく教区二十組の方々とのありがたい出会いも頂きました。今後も法要や研修会等で朋に楽しく学んでいきたいと思います。そして、生かされて生きていくことに「おかげさま」と感謝出来る私になりたいと思います。

御笠組仏教壮会は「御同朋の社会をめざす運動」を率先して推進する立場にあります。そして、生かされて生きていくことの「おかげさま」と感謝の声を出し合いたいと思います。

つ学んでいきましょう。  
その為にも、明るく、そして  
楽しい活動が出来ればと思つ  
ています。



寺族婦人会長(坊守会)  
西蓮寺坊守  
中川 将子(釋淨蓮)

門徒推進員になり仏法を聴  
聞して南無阿弥陀仏の御縁を  
いただき、自覚をもつて、共に  
実践活動に取り組む事です。



門徒推進員連絡協議会長  
教円寺  
和博(釋円修)  
大田

今年度から二年間、御笠組  
坊守会長と福岡教区寺族婦人  
連盟の会長をお引き受けしま  
した。前会長さまの助言を頂き  
ながら皆さまの意見をお聞き  
して、教区の研修会や活動に反  
映したいと思っております。

合掌



組織教化部長・同朋部長  
西正寺住職  
山内 真隆(釋眞隆)

また今年度は前年度から申  
し送りで御笠組坊守会の研修  
会を計画しています。ご協力よ  
ろしくお願い致します。

合掌

私は「聞法」「学習」と「実践」  
が集いの目標と理解していま  
す。この目標をめざし、役員、運  
営委員のご協力を戴いて努力  
します。

今年最初の研修は、正信偈の  
正確な唱え方、六首引きは、皆  
が自信を持つて調声を勤めら  
れるように学びます。次回は、  
法然聖人のみ教えを学びます。  
このことが、日常の実践へ広が  
れば幸です。

戴糾弾學習会において明瞭か  
になつた私たちの課題に僧侶  
研修会を通して僧侶一人ひとり  
が深め、部落差別をはじめと  
する様々な問題の解決に努め  
ます。また、ご門徒と課題の共  
有を図るため同朋研修会を実  
施します。



寺院機能部長  
円徳寺住職  
宮崎 達映(釋達映)

この度、はからずも寺院機能  
部長を引き受ける事になりました。  
内容は「門徒代表者協議  
会」「門徒推進員連絡協議会」  
「れんけん修了者の集い」であ  
ります。親鸞聖人のみ教えにし  
たがい一人ひとりが聞法に励み  
「御同朋の社会をめざし」、教  
化活動に取り組むことにより、  
組寺院活性化を図つていくこ  
とを願います。

組織教化部門は、壮年会・婦  
人会・若婦人会の三つの組織運  
営に携わります。宗門の基幹  
運動」は、「御同朋の社会をめ  
ざす運動」と名をかえました  
が、部門では、「一人ひとりがいの  
ち輝き共に生きる社会の実現  
をめざす」という目標を引き継  
ぎます。

この度、御笠組門徒推進員連  
絡協議会長に就任致しました。  
行き届かない事があると思い、  
ますが、皆様方のご協力をよろ  
しくお願い致します。淨土真宗  
は、聞法と御同朋の教団であ  
り、それをめざすには連研修了  
者の方達は、中央教修を履修し

ぎ、各会二回の研修に取り組み  
ます。さらに、各寺院の会長と  
情報や意見交換を活発に行い、  
研修が各寺院の活性化につな  
がれば良いと考えます。

同朋部門は、過去帳差別記  
載糾弾學習会において明瞭か  
になつた私たちの課題に僧侶  
研修会を通して僧侶一人ひとり  
が深め、部落差別をはじめと  
する様々な問題の解決に努め  
ます。また、ご門徒と課題の共  
有を図るため同朋研修会を実  
施します。

連続研修とは、浄土真宗の  
み教えを学ぶと共に、お寺とど  
う関わっていくかを、受講者と  
部門のメンバーみんなで一緒に  
なつて考えていく研修会です。  
連研を受講された方から、  
受講する前よりお寺と身近に  
なつた、住職や坊守と良く話を  
するようになつた、という声が  
益々増えるように頑張つていき  
ます。



連続研修部長  
来光寺衆徒  
益永 隆寛(釋隆寛)

連続研修とは、浄土真宗の  
み教えを学ぶと共に、お寺とど  
う関わっていくかを、受講者と  
部門のメンバーみんなで一緒に  
なつて考えていく研修会です。  
連研を受講された方から、  
受講する前よりお寺と身近に  
なつた、住職や坊守と良く話を  
するようになつた、という声が  
益々増えるように頑張つていき  
ます。

互いに敬い合うという事を  
多くの子どもに伝えていきた  
いです。



青少年育成部長  
慶伝寺衆徒  
久保 龍道(釋龍道)

この度、キッズサンガサポーター  
伯東寺衆徒 小山 真行(釋眞行)

この度、キッズサンガサポーター  
伯東寺若院の小山真行です。キッズサンガサ  
ポーターとは子どもと阿弥陀  
さまのご縁づくりの環境を整  
える運動をサポートする役で  
す。子ども達の目線に立つこと  
を意識し、共に見て、聞いて、考  
えていきたいと思います。

長男の香樹が生まれてもう  
5ヶ月になりました。子育ての  
中で多く気付く事があります。  
赤ん坊だから知らないわから  
ないだろうという気持ちで接  
するのでなくて、赤ん坊であろ  
うと敬う心で接するべきだと  
最近思いました。



## お盆を迎えるにあたって

西正寺住職 山内 真隆（釋真隆）

淨土真宗のみ教えは、「誰もが、阿弥陀如来の本願のはたらきによって往生成仏する」というみ教えです。「ナモアミダブツ」と阿弥陀さまの願いを聞くところに、私の往生が定まり、その感謝の思いの中で、お念佛申す日々を過ごさせて頂くのです。

したがって淨土真宗は、先祖へ追善供養する教えではありません。また、靈を迎えて送ります。お盆

さて、皆さまはお盆をどのように迎えていらっしゃいますか。

西正寺でも、ご本尊（阿弥陀さま）を安置しております本堂にお参りすることなく納骨堂へ直行し、納骨壇へお参りしてそのままお帰りになるご門徒のお姿をたびたび目にいたします（「先に本堂へどうぞ」とお声はかけさせて頂いていますが……）。

しかしこれでは、ご先祖（淨土真宗では、先祖靈ではなくて仏さまになられて）いるので、諸仏（諸仏）の思いと、私の行動が全くかけ離れたものになっています。諸仏は、「ご本尊とお会いして、阿弥陀さまの願いを聞いて、報恩感謝の日々を送ってほしい。」と私に対して思い続けておられるのですから。

仏教とは本来、私が阿弥陀仏や諸仏を拝む宗教ではなく、阿弥陀仏や諸仏から私の方が拝まれ、願われていることに気づいていく宗教です。淨土真宗は、阿弥陀仏や諸仏の願いを、ご本尊の前で「ナモアミダブツ」と、我が身のこととして聞きぬいていく、ところに大きな意味があります。



### お盆に必要なもの～本当の供養とは。

#### ①供養壇・精霊棚 ②盆提灯・迎え火・送り火 ③供物膳は必要ありません。

繰り返しになりますが、お盆は、この時だけ先祖の靈を迎える、また帰ってもらう行事ではありません。よって提灯や送り火・迎え火は必要ありません。また、亡き人は靈魂にはなっていません。淨土で仏さま（諸仏）となられて、お盆の時だけでなく、いつでも私のそばで私を見守っていてくださいます。その仏さまの願い・はたらきに気づく事が、私が煩惱から救われていく本当の意味での供養なのです。

仏教とは本来、私が阿弥陀仏や諸仏を拝む宗教ではなく、阿弥陀仏や諸仏から私の方が拝まれ、願われていることに気づいていく宗教です。淨土真宗は、阿弥陀仏や諸仏の願いを、ご本尊の前で「ナモアミダブツ」と、我が身のこととして聞きぬいていく、ところに大きな意味があります。

～大切な人を送る時、私たちができること～



ご葬儀を真心込めてお手伝いします

有限会社 筑紫葬祭

葬祭式場 セレモニー 筑紫

本社/〒818-0072 福岡県筑紫野市二日市中央3丁目2-21  
TEL 092-925-4444代  
セレモニー筑紫/筑紫野市塔原東4丁目3-5 TEL 092-924-5177



お仏壇の よーかど

お仏壇・仏具のご相談はお電話を！

筑紫野市二日市中央通商店街  
☎092-924-1111



前門様から法灯を継承された折、全国の組の状況を見たいとの願いから、ご門主に



光伝寺門徒  
野美山芳子（釋芳蓮）

よる巡教が始まり、一九八一年から二十四年かけて、五三四組全ての組を巡られ

婦人会長で  
あり、昨年  
の巡番報恩  
講を引受け  
た時は仏婦  
副会長、今  
年の記念法  
座の時は仏  
婦会長とし  
てご縁に遇  
わせて頂き



その後各地で巡  
教記念法座が始  
まつたとご講師  
からうかがいま  
した。

御笠組へのご

巡教は、一九九四年五月で、光伝寺にもお見えになりました。翌年の五月より御笠組での記念法座が始まり、その後戦争犠牲者追悼法要をともにお勤めするようになります。現在に至っています。ご

戦争が絶えませんが、戦争による犠牲が出来ない世の中になる事を望みます。今後も聴聞を続け仏縁に遇わせて頂き、仏法を通して、生かされている命の大切さ、尊さを子や孫達にも伝えていかなければと思っています。

合掌



夏ローバイ

JA筑紫 誠心誠意を大切にします。もしものとき… 

JA筑紫 農業協同組合 (JA筑紫 共栄会 やすらぎ会館)

〒818-0057 福岡県筑紫野市二日市南2-1-3  
TEL(092)924-3027/FAX(092)928-1394

組合員・NEWにじの会 会員募集!!



歴史と伝統の技で創る…仏壇・寺院用品  
**漆** **株福岡 仏掌堂**

〒815-0075 福岡市南区長丘1丁目9-1 TEL(092)561-7070㈹  
FAX(092)561-8463  
〔工場・夢工房〕福岡県八女市室岡1299 TEL(0943)24-2110

## 門徒推進員連絡協議会総会を開催

門徒推進員連絡協議会長

教円寺門徒 大田 和博 (釋円修)

御笠組門徒推進員連絡協議会

の第十六回定期総会を栄法寺で  
平成二十四年五月十六日に開催  
しました。

開会式は安西建治会長(真光  
寺)の調声で全員が『讃仏偈』をお  
勤めして始まりました。会員五十

五名中三十三名の出席でした。  
総会では、議長に安樂國夫(教  
円寺)が選出され活動報告・決算  
報告があり議事は進みました。

本期は、役員改選の時期であり  
ますので審議して新役員の、会長  
には大田和博(教円寺)会長山崎茂之  
石英樹(明福寺)会計山崎茂之  
(明福寺)監査鬼倉智恵子(安紹  
寺)が選出されました。

その後、新年度活動方針・予算  
寺中川清昭  
住職より今



合掌  
ました。



年四月から浄土真宗本願寺派の  
組織改革、新体制について実践運  
動などの説明を受けました。まだ  
本山からの詳しいことが届いてな  
いので届き次第説明するとのこと  
でした。

また、会員より門徒推進員の辞  
退届についての意見があり、本人  
の健康状態高齢により活動が出  
来ない等の理由により所属寺院  
住職が認めれば辞退しても良い  
のでは、との話し合いになり、それ  
は本人しらいという結論になりました。

その他、色々な意見が出ました  
が、門徒推進員として無縁社会、  
格差社会が進む今日、お寺や関  
係組織と協力して親鸞聖人の教  
えを仰ぎ「御同朋の社会をめざし  
て」、一人ひとりが  
実践していく運動  
であるこ  
とを確認  
し、総会  
を閉会し  
ました。

報恩講法要・永代經法要で二日間お斎を出し  
ています。役員・当番地区の方々が中心になっ  
て、季節の野菜を使って創意工夫し、皆さんに  
喜んでいただけるのが、何よりも励みとなつて  
います。

西正寺お斎



おてての しわとしわを あわせて しあわせ なーむー



お仏壇・墓石  
**はせがわ**  
靈園・墓所・墓石のご相談も承ります。

太宰府インター店 太宰府インター  
グッディそば ☎092-503-0800

大規模葬から家族葬まで…  
もしもの時に安心な…互助会会員募集中

(株)のがみ 善光会館 筑紫会場

筑紫野市杉塚6丁目11-1 Tel 921-4242(代)



## 来光寺日曜学校

六年生 土師 朋佳



今日は、待ちに待ったジャガイモと玉ねぎ掘りでした。二人十人くらいで掘りました。掘る前は小さいのが少しくらいかなと思っていたけど、いざ掘つてみると、とっても大きくたくさん掘ることが出来ました。皆さんもとっても楽しそうでした。来年も又、皆さんといっしょにジャガイモと玉ねぎ掘りをしたいです。



来光寺衆徒 益永 隆寛  
六月の日曜学校では、御門徒の吉村さんのご協力を得てジャガイモ掘りをしました。子どもたちはジャガイモが掘れるようになるまでの話を聞いた後に、普段食べている物がどのように出来るのか、いつも食べている食事を誰が作っているのかをみんなと一緒に考えました。みんなで掘った芋に何かを感じたのか、ある子が「感謝して食べるよ」と言ってくれました。

### ジャガイモ掘りで 考えた事

初回相談無料  
毎週月曜日～金曜日  
午前八時半～午後六時  
※弁護士が相談に応じます  
相談専用電話  
（092）711-034

ビハーラ・ライン・福岡  
この電話  
（092）711-1432  
毎週月曜日・金曜日 ※祝日は除く  
午後1:00～午後4:30  
プライバシーは守ります  
（相談内容）  
（浄土真宗本願寺派社会福祉推進協議会福岡支部）



御墓石・記念碑・造園・石材加工・その他石工事  
設 計・施 工  
石のことなら気軽に御相談下さい。

(有)矢ヶ部石材

代表取締役 矢ヶ部 清隆

筑紫野市大字本道寺106-4 ☎ 924-5574  
(FAX) 924-8212

草 [SOUEN] 苑

美しが丘 TEL 092-919-0880 FAX 092-919-0881  
草 苑 筑紫野市美しが丘北3丁目12-4

本願力に

あひぬれば

…

1

## 四苦八苦

安紹寺住職 田代 寿子（釋香寿）

編集後記

新しく生まれ変わった組報「みかさ」はいかがでしょうか。今年度より宗門の体制が変わり、御笠組においても組長はじめ新たな体制がスタートしたのを縁として、組報を刷新いたしました。

した。

保存しやすい組報を目指し、渉外広報部門のメンバ

ーが、何度も真剣に協議を重ねて「新組報」の完成に至りました。

第二面に、お釈迦さま（仏陀釈尊）の伝記をもとに造られた浮き彫りを毎号掲載しながら、その生涯をたどっています。

多くの投稿をお待ちしております。

『今まで私の中では

バラバラだった

四苦八苦

バラバラだった

今一体となつて

襲つてくることを

実感しています

この身を通して

感じられます

この身を通して

感じられます

理屈でなく体感として

ナモアミダブツ』

私は今年五十三歳に成ります。これまでに多少なりとも悩んだり苦しんだりしてきましたが、一昨年住職が病気の告知を受けた十二月二十四日以降これ程までに無い「四苦八苦」を経験しております。

「四苦八苦」は、どなたもご存じだと思いますが「人」で有る以上どうしても免れられない苦しみです。

約二千五百年前に釈尊が説かれた「苦諦」が巨大な渦（うず）となつて私を巻きこんで参りました。

この苦しみを、ありありと教えてくれたのが、前住職であり、原因が「我執」によるものだと教えてくれたのも、お釈迦さまと前住職です。

このままではいけないと、いつも目の前にある書物をひもとき読んでみても理解できます。

前住職の最後の法話は、

「自分は余命半年の宣告を

できず唯々オロオロするばかりの毎日です。この苦悩を超える道「八正道」をこの様な私の為に教えて頂いて要るにも拘わらず、直視しようとしないで逃げ回るばかりの私が其処におります。

今回私が得たこの苦悩は、いかに自分自身が仏縁に遇つていなかつたかという事を痛感させられました。

ご門徒の方々には「人は死んで終わりでは無く、私達は生き方からいろんな事を教えられ氣づかせて頂いているんですよ。何よりも一番最初に手を合わせるという事を教えて頂いて要るのではないでしょうか。」などと、お話しをさせて頂いておりますが、人前で偉そうに言えない愚かな生活をしておる次第です。



婆羅双樹

積善社 筑紫斎場

太宰府市吉松4丁目6-1 (青葉台入口信号角)  
☎0120-14-0789 (フリーダイヤル)

合掌礼拝の生活 ルンビニープラザ  
お仏壇のコガ

太宰府店 [駐車場完備]  
太宰府市都府楼南1丁目1-32 ☎(092)923-8080